

ディケア便り

2022年度 第1号



2022年度になりました。今回は新年についての記事を書きました。

ディケアとはなにか

ディケアとは精神障害のある方が、社会参加、社会復帰、復学、就労などを目的に様々なグループ活動を行う通所施設です。昭和大学鳥山病院では、毎週平日・隔週土曜日にディケア(正式にはリハビリテーションセンター)内でプログラムを実施しております。

※高齢者の介護のイメージがありますが、ここでは精神科のディケアについて説明します。

私が思う鳥山病院ならではのディケアの特徴

- 1、様々な人がいるので、多様な知識を得られる。
- 2、スタッフさんが優しい。
- 3、病気についての勉強ができる。
- 4、病気の垣根を取り払った、利用者同士の助け合いがある。

ハロウィンイベント

昨年10月27日(水)、プロジェクトK(以下プロK)主催でハロウィンイベントが決行されました。

このイベントではプロKから支給されたグッズ、個人で所有される物品を使って様々な仮装・おめかしをして、一日中プログラムに参加するという前例のないイベントでした。

昨年のイベントはコロナ対策を意識しなくてはならなかったため、かなり制約が掛かっていましたが、幸いにもハロウィンイベント開催時は、東京都内のみならず日本国内のコロナ感染者が減少していたため、無事にイベントが開催できました。

プロKメンバーは他のメンバーさんに配布するグッズの調達、並びに撮影スポットになるような壁画の作成をしました。



2022年への思い

デイケア便り委員の2022年への思いや願いを集めました。

皆様は2022年をどんな1年にしたいですか？

2022年は就職へ向けて、心身共に安定した状態をKeepして仕事に取り組める状態を作りたいと思います。

そのためにも、エキサイトした際に我を忘れないようにすることを心掛けたいと思います。

仕事場では自分の関心や拘りの話を持ち込まないようにしたいです。

(Ex)麻雀、野球、政治、アイドル

ONとOFFの切り替えをして仕事もプライベートも両立するようにしたいです。

※ちなみにですが、2022年は阪神が優勝して欲しいです。

皆様こんにちは。デイケア便り委員のNです。

2022年に実践したいことは、「湿原」じゃなかつた「失言」を抑えることです。昨年、主治医にデイケアの受け持ちスタッフの個人情報をしゃべってしまったり、えーっとここでは言いにくい事も言っちゃたしなあ。わたしが政治家なら議員辞職をするはめになってしまったかも。口にチャックをイメージしてがんばろうと思います。

2022年、少なくとも何か職に就いて定年が見えてきた両親に隠居を考えさせるのが、大学などで迷惑をかけた自分からの恩返しになるのかなと思います。

また、マシンガン戦士が帰還したベイスターズが24年ぶりのセリーグ優勝、並びに日本一になることを…!!

いい加減にコロナ治療薬が完成して好きに飲み歩きできるような環境になって欲しいなぁ…!!!!

早く気楽に食べ歩きがしたーーーーい!!!!

2022年は就職できたらいいな。

就労準備等のプログラムで就労に向けて準備したので、成果を出したいです。

年末年始アンケート

2020年の終わりから2021年の初めに掛けてディケアメンバー・スタッフを対象にアンケートを実施しました。

今回は、アンケート結果と、その中で票を集めた上位3つのおせちの由来を紹介します！！

ディケア内おせち票数

ディケア内おせち票数	
黒豆	8
栗きんとん	7
伊達巻	5
数の子	4
筑前煮(お煮しめ)	2
チャーシュー	1
なます	1
昆布巻き	1
ハム	1
よろこんぶ	1
菊花カブ	1
田作り	1
雑煮 (正油、鶏肉だし、春菊、ネギ、餅)	1



1. 黒豆

「“まめ”に心を配って生活する」、「“まめ”に暮らせるように」という願いが込められています。また、「“まめ”に働くことができる」という精神が重要なものとして人々に根付いていたため、食べるようになりました。

2. 栗きんとん(栗金団)

栗は元々「勝ち”栗”と呼ばれ勝負運をアップさせる縁起の良い食べ物として重宝されていました。

黄金色に輝く小判をイメージさせることから「金色の団子」とも評され、「お金が貯まるように」「金運や豊かな一年が送れるように」と願いが込められています。

3. 伊達巻

見た目の華やかさと書物の巻物に似ていることから「知恵が増える」ことを願う縁起物です。また、派手・おしゃれを意味する「伊達」を用いたという説もあります。

海外のお正月と音楽

日本では大みそかの日に紅白を見る習慣があります。皆様もお目当ての歌手の歌を楽しみにしていたかと思います。

ヨーロッパでは紅白の代わりに元日に、オーストリアのウィーンで行われるウィーン・フィルのクラシック音楽のコンサートが定番になっているようです。ウィーン・フィルはシュトラウス家の音楽（産業革命の頃の音楽）を得意とし、アンコールではラデッキー行進曲を流すのが恒例になっています。ラデッキー行進曲はヨーロッパで大人気の曲で、観客が拍手をして曲を盛り上げるのが慣習になっています。ただ、この楽団のコンサートの入場チケットの代金の相場は8万円位なので、観たい方は頑張って貯金してください。

編集後記

昨年は皆様どう過ごされましたか？昨年は夏季オリンピックがおこなわれ、今年も冬季オリンピックがおこなわれ、ちょっと不思議な気持ちにもなった方もいるのではないでしょうか？2年連続でオリンピックが開催されたのは、たぶん、初めてのことだったのと思います。

なんとなく正月になり、おめでたいなあと思っていたら、オミクロン株が流行し始めて、私はがっかりしてしまいました。「今年もどこにも行けない」と。

あ、でも用事で昨年関西には行ったなあ。でもあれは遊びで行ったわけじゃないしなあ。もっと外遊びたいし、イベントや花火大会、ディケアでもカラオケもしたい。さっさとコロナ終われー！うん。終われー！悪疫退散！（N・K）